



# OMT2 NOPUS NO.8

競争原理、優位性等々…私たちの身体はどこまで行っても「資本」が生み出す価値基準に蝕まれ続け、そこから逃れることはできない。逃れられないのならば、せめて私たちの身体を以てそれに抗い、もがき、闘う姿を晒す覚悟を決める。その先に何かがあるのか……2013年ポーランド公演を経て、[OPUS NO.8] 日本初上陸。

**出演 Performer**  
 佐々木敦 ATSUSHI SASAKI  
 中井尋央 HIROO NAKAI  
 柴崎直子 NAOKO SHIBASAKI  
 丹生谷真由子 MAYUKO NYUNOYA  
 金原知輝 TOMOKI KINPARA  
 村岡尚子 SHOKO MURAKAKA  
 鈴木瑛貴 TAMAKI SUZUKI  
 大根田真人 MASATO ONEDA  
 中野雄斗 YUTO NAKANO  
 トビハ TOBHA  
 木内コギト COGITTO KINOUCHI  
 他

**構成・演出 Composition & Direction**  
 真壁茂夫 SHIGEO MAKABE

**OM-2 / 黄色舞伎団 2**

真壁茂夫を中心に 87 年に結成したパフォーマンスグループ。東京を拠点として活動を続けるが、公演は主に USA、EU 圏、アフリカ、アジアなど世界各国で行う。「カイロ国際実験演劇祭」では日本人初最優秀作品賞受賞。劇作家や演出家の美意識や考えのみに依拠せず、俳優・スタッフそれぞれが作品やアイデアを提示し合い、(人間の生きる根拠)から捉える視点を軸に、平等の立場で検証し構成していく。

Website: [www.om-2.com](http://www.om-2.com)

Twitter: [@om\\_2member](https://twitter.com/om_2member)

Facebook: [www.facebook.com/IPC.OM2](https://www.facebook.com/IPC.OM2)



Photo: 田中英世



Photo: 前澤秀盛

2014. 2/14<sup>金</sup>, 19:30 15<sup>土</sup>, 16:30

※開演の30分前より受付開始。開演時間を過ぎますと入場できない場合があります。

料金 前売 2800円 — 学生 2300円 当日 3300円 — 学生 2800円 高校生以下 1500円 ~要学生証

SNS・Twitter 割引 (限定・要予約) 1000円

※SNS・Twitterにて本公演をご紹介してくれた方が対象となります。受付にて画面提示をお願いします。

Getii オンラインチケット インターネットで申込(要登録・無料)セブンイレブン発券 — Confetti [confetti-web.com](http://confetti-web.com) OM-2 [www.om-2.com](http://www.om-2.com)

問合せ・予約 OM-2 OFFICE [info@om-2.com](mailto:info@om-2.com) d-倉庫 03-5811-5399 月曜日 18:00-23:00

予約のみ CoRich 舞台芸術! [stage.corich.jp](http://stage.corich.jp)

チケット発売日 2013年12月16日(月)

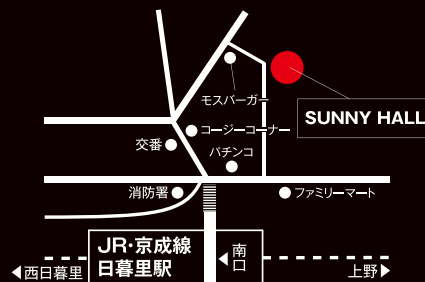
# 日暮里 SUNNY HALL

会場  
03-3807-3211

荒川区東日暮里 5-50-5 ホテルラングウッド 4階

[www.sunny-move.com](http://www.sunny-move.com)

「日暮里」駅(JR,京成,日暮里舎人ライナー)JR南口徒歩2分



(前略)1987年結成の「OM-2」だが、79年発足の「黄色舞伎団」が前身。94年「カイロ国際演劇祭」最優秀作品賞受賞、海外ツアー歴も多彩。ピナ・バウシュが、舞踊身体を解体し、各メンバーの「心身」に潜む記憶や衝動も紡ぐタンツ・テアターを開始したのが77年だった。

通常の演技技術を放棄し、メンバー各自の心身のあり方を頼りに、そこで純化される「今ここで」の発想を活かす「OM-2」の作劇法は、国際的な水準から見ても最前線を担っている。(後略)

——公明新聞掲載 ダンス批評家 原田広美——

## 「今」と対峙する身体表現

佐々木 (前略) 僕が自分だと思っていた自分、思い込まれてきた自分、そこから離れた「身体」がそういうことを判断しているんだと思う。それはたぶん、僕が音楽はこういうモノだろうとか演技はこういうモノだろうとか、そういうモノに対して古くて固定されたモノに対して逆らうというか、抗うというか。本当のところはそうじゃないというのを身体が知っている。その身体が反応するんだと思う。

——「artissue」掲載 佐々木敦 × 林慶一 / 対談 抜粋——

【舞台監督】田中新一(東京メザマン向)・長堀博士(楽園王)  
 【照明】三枝淳・金原知輝 【舞台スタッフ】佐藤一茂・他 【宣伝美術】林慶一  
 【音響】上野雅・佐久間修一 【写真】田中英世・塚田洋一・前澤秀登  
 【映像】兼古昭彦 【音楽】佐々木敦  
 【記録映像】船橋貞信・四方隆夫・PLASTIC RAIN  
 【企画・製作・映像】WORKOM  
 【制作】金原知輝・村岡尚子・高松章子

【助成】芸術文化振興基金 【協賛】d-倉庫  
 【主催】OM-2

【協力】中村麻美・笠松環・上村なおか・伊藤全記・三澤さき・松浦孝介・中村修也・平澤晴花・吉村二郎・黒川弥生・山口ゆりあ・吉澤啓太  
 高田けい子・小仲やすえ。(石榴の花が咲いてる。)・劇団ING 進行形・die pratzte

真壁茂夫演劇論集  
 「核からの視点」 れんが舎書房 定価 2310円  
 西堂行人との公開トークも全文収録  
 肉体都市と精神都市の狭間、演劇の原点を揺さぶりスリリングに創造の荒野を切り拓く鮮烈な超演劇論  
 建築家 / 若松久男

